

2025年度

ニチキッズ柏保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年2月16日（月）～2月27日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月10日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、理解を深め、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、日々の保育の充実を図れるように全職員が園内研修の内容の検討をして実施した。
子どもの発達援助	毎日の遊びの中で、生き生きと遊び込める環境設定や安全面への考慮、個々の発達に合わせた保育内容を意識した。また、行事や世代間交流（デイサービス訪問）の活動には、それぞれ創意工夫をして取り組んだ。食育ではオクラとナスの栽培をして、野菜を身近に感じたり世話をすることを学んだ。
保護者に対する支援	今年度は初めて、希望者のみだったが全クラスを対象に個人面談を実施し、クラス懇談会も開催して、保護者の方向士が繋がり合えるように考え、思いや悩みに寄り添えるように努めた。また、お迎え時に保育動画を流し、よりよく子どもたちの様子を身近に感じてもらえることが出来た。
保育を支える組織的基盤	職員間のコミュニケーションを密に行い、連携を図ることが出来た。園内研修や外部研修にも積極的に参加をし、専門分野への知識を深め保育のスキルアップ向上を行った。今後もさらなる質の向上を目指し取り組んでいきたい。

総評
保護者支援に重きを置き、一人ひとりに寄り添えるよう考え取り組んできた。次年度にも引き続き取り入れていきたい。また、子どもたちの発達段階を職員間で共有し、子どもたちの最善の利益を考えるとともに、保育の質の向上を目指して保育を行っていた。なかなか集中して取り組める時間・体制が取れなかったため、次年度は保育を運営の中心とし、更なる向上を職員一同努めていきたい。